

不育症や死産を経験した方への支援

愛知県 豊橋市保健所 こども保健課
専門員 伊藤 僚子



豊橋市の概要



- ▶ 明治39年8月1日市制施行
- ▶ 平成11年4月1日中核市
- ▶ 人口373,252人 (R3年10月1日現在)
- ▶ 出生数2,635人 (R1年)
- ▶ 合計特殊出生率1.47 (R1年)

とよはしっ子に聞いてみた!

- 「新幹線で東京まで1時間20分」
- 「JRor私鉄で名古屋まで45分」
- 「中心部を路面電車と国道1号線が走る」
- 「東海道吉田宿と二川宿」
- 「無料で遊べるとこいっぱい」

不育症の方への支援



不妊・不育専門相談の実績

	延数 (件)	
	不妊	不育
令和元年度	40	4
令和2年度	64	1
令和3年度 (10/22現在)	21	5

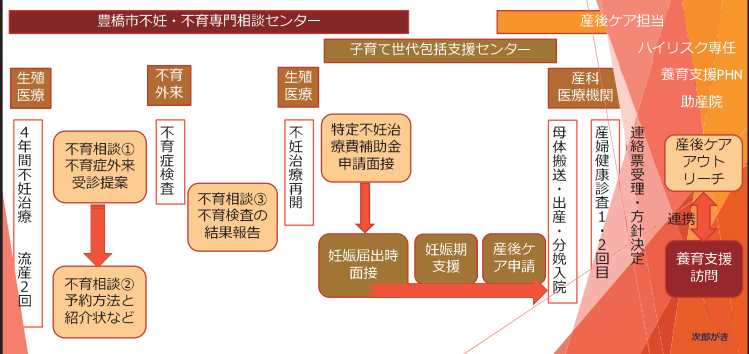
H31年4月～不妊・不育専門相談センター開設

R2年4月～特定不妊治療市独自の助成拡大

R3年4月～「移補を伴う特定不妊の初回治療分を市独自助成」「不育症検査費用の助成開始」

不妊カウンセラーや保健師が随時、相談に対応

不育症の方への支援 ～不育相談から産後ケア・養育支援まで～



死産を経験した方への支援



妊娠届出後における流産・死産の把握方法

流産	死産
1 妊婦健康診査の履歴	1 所内統計部署との情報共有
2 出生確認ができない妊娠届	2 妊娠期の支援の途中 (電話・訪問)
3 医療機関との情報連携 (電話・情報連絡会)	3 医療機関からの連絡票

※個人情報の扱い：妊娠届出時面接で実施するママサポートプランにて同意あり



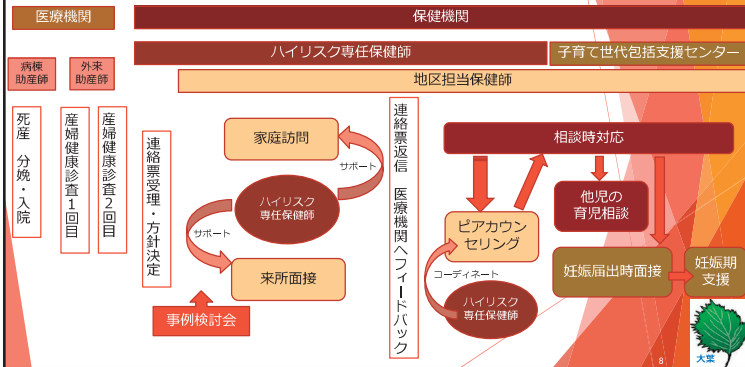
流産・死産に関する医療機関からの連絡票の実績

	実数(件)		
	令和2年度	流産	死産
病院 (総合周産期母子医療センター)		0	4
診療所		1	

うち、支援希望なし 2件

天伯すいみか

死産の方に対するグリーフケアの過程 ～連絡票受理からピアカウンセリングまで～



まとめ・課題

- ▶ 不育症の方への支援では、まずこれまでの経過や心身への負担に対する受容のケアが必要である。また、より専門的な相談や検査の時期を理解し、当事者の意思を尊重しながら、治療へ向かう姿勢を支えることが重要なため、支援者の知識や経験等のスキルが必要である。
- ▶ 流産や死産を経験された方への支援では、死の受容における段階を判断し、寄り添った慎重な支援ができることよい。体系的な観点からは、情報の入手方法を明確にし、支援のタイミングや相互の役割、支援者間での情報共有が必要である。そのためにも、普段から周産期医療機関や地域の産科医療機関と情報共有を密に行い、支援後にはフィードバックを行うなど、信頼関係の構築が重要である。
- ▶ 不育症、流産・死産、いずれにおいても継続した支援が望まれ、自治体の各部門や担当が連携して支える組織体制の整備が重要である。また、支援者自身の心的負担に対するサポートや、今後の対象数の増加を想定して補助事業を活用する等マンパワーの確保が必要である。

